

# 令和7年度 第1回社会教育委員会議

【日時】 令和7年(2025年)5月15日(月) 15時00分～16時30分

【場所】 鎌倉商工会議所 301会議室

【出席委員】 蛭田議長、久保内委員、岡委員、石井委員、黒木委員、下山委員、中島委員、永瀬委員

【行政職員】 小林教育文化財部長、保住教育文化財部次長兼教育総務課担当課長、小原教育文化財部次長兼学びみらい課担当長、鈴木教育文化財部次長兼文化財課長、飯田生涯学習課長、栗原中央図書館長

【事務局】 神長社会教育主事、岸社会教育指導員

【傍聴者】 1名

## 【議事内容】

### 1 開会

#### 事務局

令和7年度第1回社会教育委員定例会議を開催する。始めに今回、1名の委員に交代があったので部長より委嘱状をお渡しする。

----永瀬委員に委嘱状の交付

#### 蛭田議長

始めに委員の出欠状況の報告をお願いします。

#### 事務局

島田委員、岡田委員からの欠席のご連絡があったが、定足数に達しており、社会教育委員会会議規定第3条の規定に定める過半数を超えていることから、会議は成立していることを報告する。また1名の傍聴者が参加する。

#### 蛭田議長

本会議は成立しているとの報告を受けたので、会議を進める。事務局より会議資料の確認をお願いします。

#### 事務局

机上の端末の中にファイルが保存しているので、画面の確認をお願いします。

### 2 報告事項

#### ア 令和7年度社会教育委員会生涯学習関連予算概要について

#### 保住教育文化財部次長兼教育総務課担当課長(議案集2ページ)

令和7年度教育費の合計は78億5781万7千円で、令和6年度の67億1816万5千円と比較して、約10%の減となっている。そのうち、教育文化財部が所管する社会教育生涯学習関連予算は17億9553万2千円で、生涯学習センターの非常放送設備の修繕や、生涯学習センター及び玉縄交流センターのエレベーター工事にかかる経費等が増加する一方、史跡土地購入費や史跡建物保存費の減などにより、令和6年度と比較して約5%の減となっている。令和7年度の主な事業の内容は、社会教育総務費は社会

教育委員報酬や吉屋信子記念館の維持管理費、職員給与費など。文化財保護費は史跡北条氏常盤邸跡崩落対策工事、史跡永福寺跡維持管理業務委託料など。生涯学習センター費は、生涯学習センター指定管理料、維持修繕料など。図書館については、図書購入費にかかる経費や、コンピューター賃借料など。博物館費は鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館の管理運営にかかる管理業務の経費を計上している。続いて3ページには担当課別に主な社会教育費を記載している。生涯学習課ではコミュニティスクール整備事業に合わせて、地域学校共同活動推進委員の設置を。また、鎌倉市にふさわしい博物館事業については基本計画策定に向けての検討を進める。文化財課では国指定史跡永福寺跡の維持管理を引き続き行っていく。

また、中央図書館では図書購入の他、ブックスタート事業の実施を進めていく。

#### 蛭田議長

質問、意見はあるか。

#### 久保内委員

生涯学習課の地域学校共同活動推進委員だが、これはどれくらいの規模で何人位でどういう方がいるのか。

#### 事務局

地域学校協働活動推進委員は、鎌倉市の各小中学校に一名配置する予定で、令和4年度から実施している事業である。現在は全25校中、内20校に配置され、今年度、新たに5校、5人を配置し、今年度で全ての学校に配置される予定である。

#### 蛭田議長

他にあるか。なければ、令和7年度社会教育生涯学習関連予算概要について了承する事とする。

### イ たまなわ交流センター外壁等の大規模修理による集会室利用中止について

#### 飯田生涯学習課長

たまなわ交流センターにおいて、令和7年7月1日から令和8年1月31日までを工事予定期間とする外壁等の大規模修繕が行われる。工事中は大きな音と振動が発生するため、利用者への影響を考慮し、工事時間内の集会室の利用を中止する。議案集5ページのとおり、工事予定時間が朝の8:30から18:00の予定になっていることから利用中止になる時間帯は現行の時間枠、平日及び土曜の9:00から18:30の枠になる。下の表は9月からの新時間枠になると、9:00から17:00までの枠になる。現行の時間枠19:00以降の枠と、下の新時間枠17:00以降の枠は利用可能とする。ただし、新時間枠17:00以降の枠は18:00まで工事による騒音や振動が生じた場合がある事を承知した上で開放することとする。日曜・祝日は工事を行わないため全日利用可能となっている。また、今後作業工程が確定して利用が可能になった期間については随時利用可能に変更して、ホームページ等で周知する。

#### 蛭田議長

質問、意見はあるか。なければ了承する事とする。

### ウ 令和7年度(2025年度)の社会教育事業について(議案集7ページ)

#### 飯田生涯学習課長

令和4年度から実施している生涯学習課社会教育事業の「～春夏秋冬～鎌倉武(KamaClub)」を令和7年度も実施する。令和6年の実績は添付資料の通りとなる。鎌倉ならではの文化財や人材を活用しながら

ら年間を通じて異年齢との交流の中での学びの場を令和7年度も計画していく。休日や長期休業中に小・中学生を公募し、鎌倉市ホームページ、広報かまくらでの周知、小・中学校でのチラシの配布や掲示をしていく。続いて『ミュージアム活用』について案内する。鎌倉・雪ノ下・扇ガ谷地区にある5つの文化施設(鎌倉市竊木清方記念美術館、川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館鎌倉別館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館)では連携事業として自主的な訪問を促進する「鎌倉文化ゾーン、ミュージアムめぐりスタンプラリー」を毎年実施している。今回このプログラムの関連企画として、小・中・高等学校、フリースクール等の教職員等を対象とした施設見学プログラムを実施し、鎌倉におけるミュージアムの活動の周知とミュージアムを活用した教育の提案を図り、学校での利用促進に結び付けていきたいと考えている。現在各学校教職員にチラシを配布し周知を図っているところでチラシのQRコードからe-kanagawaにて参加者を募る。

#### 蛭田議長

質問等はあるか。よろしいか。了承する事とする。

#### エ 鎌倉市指定文化財の指定について

##### 鈴木教育文化財部次長兼文化財課長

(議案集は11ページと資料)今回鎌倉市指定文化財に指定したものは有形文化財2件で、これらの指定については令和6年11月29日開催の令和6年度第二回鎌倉市文化財専門委員会において諮問し、令和7年1月21日開催の第3回の同委員会で指定の答申を得た後、令和7年2月3日開催の鎌倉市教育委員会で議決され、2月5日告示したものである。指定物件の概要の説明をする。(資料は2ページから4ページ、PDFだと13ページから15ページ)1件目は絵画で絹本着色 三千仏図一幅。所有者は浄光明寺。製作年代は室町時代の14世紀から15世紀。本件は市内の扇ガ谷に所在し真言宗に属する浄光明寺に伝来した縦2m91cm5mm、横2m23cm3mmの大きな絵画である。この三千仏図は毎年12月に行われる仏名会という法要の本尊として壁に掛けて用いた物である。三千仏図に描かれる像は一般的には向かって右から定印を結ぶ阿弥陀如来、施無畏印・与願印を結ぶ釈迦如来、施無畏印・触地印を結ぶ弥勒如来であり、これらがそれぞれ過去、現在、未来を現し、これらの周囲に整然と小さな仏様が並んでいる。

しかし、この浄光明寺の三千仏図では、中心の三体の像がいずれも定印を結ぶ点が特徴になっている。画面全体に何度か後世の補筆、書き直しが確認できるが、中心となる三体の仏様の台座は、描かれた当初のままとなっており、建長寺に伝来する国指定重要文化財の釈迦三尊像など、中国の南宋に由来する仏画に通じる趣も伝えている。なお、この浄光明寺の三千仏図と類似するものとして、南北朝時代に描かれた横浜市金沢区称名寺に伝来した三千仏図がある。ただし称名寺の三千仏図は浄光明寺の三千仏図に認められるものとは異なり、我が国の伝統的な表現を基調として描かれている。浄光明寺、称名寺いずれも作品の大きさがほぼ同じで、絵の大きさやそれに用いる儀式の技法になんらかの規範や決まりがあったことが想定されている。このように浄光明寺の三千仏図は南北朝時代から室町時代にかけて鎌倉地域における仏画の制作と仏教理念のあり方を考える上で重要な作品である。続いて資料の5ページから7ページ、PDFでは16から18ページをご覧ください。2点目、若宮大路周辺遺跡群出土の貿易陶磁器二十四点、所有者は鎌倉市、年代は鎌倉時代。これらの陶磁器は鎌倉駅の南方約300メートル、小町1丁目333番、若宮大路の東側、現在の鎌倉郵便局の裏にあたる場所の発掘調査で出土した南宋時代の中国で作られたものである。この調査地点では、鎌倉時代中頃から後半の竪穴建物が数多く発見されたが、

このうち 13 世紀後半、第 4 四半紀に廃絶したと考えられる竪穴建物の埋め土の中から出土した物である。これらは竪穴建物が使用されなくなったのち、壁の板が倒れた内側からまとまって割れた状態で出土している。割れた破片をすべて接合し、ほぼ完全な形になるものもあるが、いずれもどこかしらが欠けている。すでに壊れていたお椀や皿をまとめて廃棄したと考えられる。また、いずれの個体も内面や外面に通常鎌倉で出土した製品にみられる使用による細かな傷がなく、なおかつ底面は平らでは無く、うわぐすりの流れた跡が残っている。このことから、これらの陶磁器が鎌倉に運ばれた際に壊れたものとして分別されたものが、食器として実際に使用される前に廃棄されたものと考えられる。全国的に見ても未使用の貿易陶磁器が一括して出土し、なおかつ遺構との関係から当時の流通や廃棄の様相に迫ることが出来る資料は珍しく、貿易陶磁器の年代決定の指標となる一括性の高い資料としても貴重である。

以上、新たな有形文化財を 2 件指定し、鎌倉市指定文化財の件数は 331 件となった。国宝の 15 件、国の重要文化財 198 件、県の重要文化財 64 件と合わせた市内の指定文化財の数は合計 608 件となっている。

なお、三千仏図については、修理が必要なことから、今後、修理を実施する方向で調整を行っている。

修理後は鎌倉国宝館等での展示を検討していく予定である。また若宮大路周辺遺跡群の陶磁器については、現在、鎌倉歴史文化交流館で展示しており、引き続き展示を行っていく予定である。

#### 蛭田議長

質問・意見はあるか。よろしいか。了承する事とする。

### オ 第 5 次鎌倉市中間サービス計画及び第 5 次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について

#### 栗原図書館長

(議案集は 18 ページから 20 ページ) 現在図書館では令和 7 年度末で計画期間が終了する鎌倉市立図書館サービス計画及び、鎌倉市子ども読書活動推進計画について見直し作業を進めている。計画期間については鎌倉市教育振興基本計画に内包される事を予定しているため、いずれの計画も令和 8 年 4 月を始期とした計画をする事を検討しているが、鎌倉市教育振興基本計画との整合性を図っていく予定である。次に計画の概要だが、図書館サービス計画では現行の計画で定めた、図書館のつながる広がる百年図書館の実現に向け、図書館サービスの向上を目指す為、3 本の柱を中心に計画作りを進めている。一本目は読書バリアフリーサービスの充実として図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充などを位置づける。二本目は知識や情報のハブとなる図書館サービスとし、鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築及びデジタル化社会への対応、図書館司書のつながりひろがり学年図書館の実現に向けた適正な体制整備と人材育成などを位置づける。三本目は鎌倉の魅力を集積し、発信する図書館へとし、新深沢図書館及び新中央図書館に必要な機能について調整を進めていく。

次に鎌倉市子ども読書活動推進計画だが、継続的に家庭・地域・学校・行政が連携し、鎌倉市の子どもたちの豊かな読書環境を整備する事を目指し、業務の柱を中心に計画作りを進めていく。柱の一本目は読書バリアフリー環境の推進として、読書バリアフリーとその蔵書の拡充、バリアフリー図書パックを作成して学校への貸し出し、バリアフリーお話し会の開催などを進める。二本目は情報活用のスキルの向上とし、紙とデジタルを併用した学習を研究すると共に、子どもたち自身が様々な媒介を使って自立的な学習が出来る様にサポートして行く事を位置付けている。三本目は子どもにかかる施設や団体と連携した読書活動支援とし、中高生が読書に関する情報を自ら発信する場作りやイベントの開催、学校図

書館との連携、図書館を利用したことのない子どもたちのニーズに合わせたサービスの提供などを位置づけている。4本目は新しい図書館の整備に向けた施設サービスの系統として子どもたちの居場所作りや個々のニーズに応える導入を検討している。なおそれぞれの計画策定にあたっては鎌倉市図書館評議会、保育園代表、市立幼稚園協会代表、小中学校代表、公募市民委員、庁内関係課からなる連絡会議等で意見をいただきながら検討を進めているところだが、広く利用者や子どもたちからの意見も把握するため、サービス計画のためのアンケートを昨年11月から12月までの一ヶ月間実施した。子どもの読書環境については令和5年度から毎年5月に未就学児の保護者と子どもにかかる施設へのアンケートを実施しているところである。引き続き所用の手続きを経て、計画案として取りまとめ、最終的には鎌倉市教育振興基本計画としての協議を経て決定して参りたいと考えている。

#### 蛭田議長

質問、意見はあるか。よろしいか。了承する事とする。

#### カ 鎌倉市教育振興基本計画の策定に向けた今後の進め方について

##### 小原教育文化財部次長兼学びみらい課担当課長

担当が、この4月から学びみらい課になった。新しい委員もいらっしゃるので、昨年までの部分を簡単にバックアップすると、もともと教育プランと生涯学習プランというのがあった。教育プランというのは学校教育の今後の計画を指し示すもので、生涯学習プランというのがこの社会教育委員会議で議論されていた社会教育の今後の方向性に諮られたものである。一方で国ではその二つを分け隔てることなく教育振興基本計画を定めるという状況も踏まえ、鎌倉市も学校教育や生涯学習というのをあえて分けるという事なく計画を策定していきたいと考えている。またおりしもこの4月より鎌倉教育大綱というものを策定した。元々あったものを改定したものだが、この方向性が「炭火」で、「炭火のような学び」というのを実現していく為に、学習者中心の学びというところを頑張っていくというのが教育大綱のコアになっていて、炭火というのが生涯の形でじわじわと周り続けるというキーワードであるので、まさに学校教育でも重要であるし、生涯学習としても大事な概念になっていて、それを実現していく為にはどのように計画を定めて行くのかというところを生涯学習と学校教育と併せて教育振興基本計画として進めていきたいというところを、昨年内に相談していたというのが大きくなっている。そこは改めてお伝えさせていただきながら、本日は教育振興基本計画の策定に向けた今後の進め方について説明させていただきたいと思っている。議案集に今後のスケジュールが1枚と、後は別添で教育振興基本計画の骨子というのを添付している。まずこのスケジュールについて説明すると、計画案の骨子を作成しているところである。骨子は、学びみらい課で策定しているので、教育文化財部の関係部署との調整が済んでなく、具体的な施策が、まだあまり書かれていないという状況になっているので、あくまで構成にすぎないものになっている。この後、庁内の意見を集約していきながら中身の具体的なところを詰めていきたいと思っているが、一方で、完全に完成してこれで行きたいというのを委員の皆さまにお見せするだけで終わるのもよくないと思っており、是非この骨子の段階からご忌憚なくご意見をいただきたいと思っている。意見をいただく場合は、こちらはまだ詳細は設計中だが、社会教育委員会議と教育委員会議それぞれバラバラで行うものではなく、合同のような形でやりたいと考えている。こちらの具体的な時期としては社会教育委員会では1年に4回開催だが、教育委員会は毎月開催なので、よければ毎月開催される教育委員会の定例会終了後時間を取り、可能の限りで結構なので、社会教育委員会議の皆様に参加いただ

き、そこで議論を賜りたいと思っている。具体的に、次回については、6月18日の教育委員会の定例会が午前10:00から。その終了するタイミングでお集まりいただき、会議の席を設けたいと考えている。

詳細な時間や場所等については現在調整をしているので、別途案内させていただく。全員が参加出来る日を調整となると、年内に開催が危ぶまれるような状況になってしまうので、日程が合う方に参加いただくと共に、一方で参加が難しい場合についてもメール等でご意見を頂戴できる機会を作りたいと考えている。スケジュールについて引き続き説明すると、この合同委員会のようなものを2回、または3回程度一応イメージとしては6月、7月、8月に開催し、その後パブリックコメントの期間を経て、あるいは並行して議会の方でも説明した後、了承いただければ10月計画策定と考えている。具体的な骨子の内容というと、別途PDF、教育振興基本計画の骨子案バージョン1.0というのをご覧頂ければと思う。こちらはまだバージョン1.0で骨子の段階である。具体的な議論というところは、合同委員会の場ですでにいただきたいと思うので、つまびらかに説明することは差し控えたいと思うが、例えば、最初の7ページまでは大きな前提というか、なぜこの計画を作るのか、というところの説明があり、8ページ以降に各柱に沿って、施策を記載していくようなものになっている。例えば、わくわくして未来を作る学びを生み出す、というところだったら、9ページをご覧いただく、例えば、こういう指標を目指して行くのはどうかとか、あるいは重点的に実施するプロジェクトとしては、こういうものが必要なのではないかと、いうのを記載している。また10ページをご覧いただくと、重点プロジェクト、新たな時代に対応した学びの実現に向けては、例えば、探求的な学びを推進していく、というような施策があり、それに関する概要やそれに向けた資料などの位置づけを検討しているところである。こうした大きな構成であったりとか、そもそも概要であったり、指標を書くということ自体を含めて、骨子の段階からご意見を賜ればと考えている。例えば、こうした議論を次回出来ればなと思っている。骨子に書いているが、論点としては、計画全体の構成というのは適切なのだろうか、というところや、参考指標というかたちで、指標をいくつか書いているが、その指標の設定の仕方も適切なのだろうか、ということとか、あるいは、まだ施策としては例としていくつかしか記載していないけれども、例えば、この柱にはこういう施策を立ち上げていくのはどうか、といったことも、幅広くご意見を賜りたいと考えているところである。本日この計画の骨子を全部見ていただくというよりは、こちらはまだバージョンを上げていくものなので、参考にご覧いただきつつ、こういうものをベースに議論していくというような方向をご承知おきいただいた上で、次回に向けてご参加が難しい場合にはメール等をいただければ大変ありがたいと思っている。こういう風なことを書いていたら良いのではないかとというイメージを膨らませて活用いただければ幸いである。資料を行ったり来たり説明となってしまったが、大きくはスケジュールとして教育委員会の会議に合わせながら合同委員会、合同懇談会のようなものを開催していければよいと考えている。

また内容については今骨子を作っているので、幅広く引き続きご意見をいただきたいというところが本日の要旨である。

#### 蛭田議長

質問、意見等はよろしいか。今後は教育委員会と合同で参加するようなことになる。また具体的にはご連絡があるかということで、進め方については了承する事とする。

#### キ 令和7年4月から7月の行事一覧について

#### 蛭田議長

議案集 24 ページから 29 ページまで、各課の一覧があるが質問、意見はあるか。

#### **飯田生涯学習課長**

生涯学習課からだが、今皆さんのお手元にビニールに入れられたパンフレットがある。こちらは 25 ページの行事予定表の 27 番。鎌倉歴史文化交流館で、企画展の「平泉から鎌倉へ」というのがあり、そのパンフレットになる。企画展が 6 月 21 日までやっているの、よろしければ来場いただければと思う。それから行事予定表の 33 番、鎌倉歴史文化交流館は、本日ちょうど開館 8 周年になり、今日から 3 日間、土曜日まで記念イベントを開催している。先着 50 名様に記念品のガチャガチャを引くとか、後は学芸員の展示解説は残念ながら今日のみになっているが、ガチャガチャは毎日先着 50 名様だが、非常に盛況で 11 時頃ぐらいまでには全部終わってしまうような状態である。非常に盛況のようなので、もしよかったら明日・明後日も行うのでお越し下さればと思う。

#### **蛭田議長**

まだ時間がありますから是非伺って見ればとよろしいかと思う。質問がなければ了承するという事にする。

### **ク 令和 6 年度神奈川県社会教育連絡協議会第 3 回理事会の報告について**

#### **事務局**

令和 7 年 3 月 18 日に第 3 回理事会が開催され、県の社会教育委員連絡協議会理事の下山委員が出席したので報告をお願いします。

#### **下山委員**

3 月 18 日神奈川県社会教育委員連絡協議会が行われた。大会があるので理事も会長、副会長 2 名等もそのままとなった。総会は、6 月 9 日に行われる。鎌倉市は今年度、受付、椅子・机運びが役割となっており、事務局と私で行うと思うので、皆様ご出席していただいて、意見を見ていただければと思う。内容としては、6 年度の事業報告書、決算案、7 年度の事業計画書、会計予算案という事、そしてシンポジウム等がある。6 月 9 日のシンポジウムの内容のテーマは、「全ての人が学び続けられる社会を作る為に社会教育が出来ること」となった。今回、神奈川県で社会教育委員会の大会が開かれるので、社会教育委員が自信を持って社会教育委員というのは素晴らしいと言えるようにという事でこの題という事になっている。講師が決まり、文教大学の青山准教授の方に登壇していただく。時間的には 13 時から 13 時 30 分、場所は県民センターホール。事務局にまだ通知が来ていないという事なので、皆様にこの細かいところがまた通知されるかと思うが、欠席の方は委任状をお願いします。その他に、令和 7 年 9 月 1 日に研修会が行われる。会場は神奈川県立総合教育センター。ここはもう神奈川県大会のリハーサルという形になるので、講師の先生も呼ぶ形になるかと思うが、実行委員会が 5 月 29 日に開かれるので、研修の発表内容的な事はその場で決まると思う。前回は伝えたが第 1 研修会が「地域の教育力の再生と社会教育委員の役割」を海老名市が発表する。第 2 分科会では「次の世代が繋ぐ持続可能な社会」を藤沢市が発表する。第 3 分科会「家庭教育支援」は未定という事だが、寒川市がやっていただくと第一回の時に出ているので、手を挙げてくれると思っているところである。第 4 分科会としては「共生社会の実現」を川崎市と茅ヶ崎市が発表する。第 5 分科会「地域・学校協調活動」は真鶴市が前も発表しているのだが、発表されることになる。鎌倉市の担当の場所は、第 2 分科会となるので、お手伝いをお願い出来る方を応募する形になると思う。会計については総会の方の資料で観ていただけたらと思う。その他に社会教育表彰候

補者の推薦に、どなたか居ましたらお願いするという事。それから協賛金は、今0なので、どこかいたらよろしくお願いするという事である。神奈川県大会、令和6年度第3回、令和7年度第1回理事会についての報告は以上となる。

#### 蛭田議長

ありがとうございました。質問はあるか。よろしいか。

#### 議長

それでは次回定例会の日程について事務局お願いする。

#### 事務局

次回定例会の方は8月定例会になる。8月13・14・15日が候補という事でよろしいか。本日欠席委員2名の予定を事務局で確認し、お知らせする。

#### 蛭田議長

ほかに何かあるか。

#### 小林教育文化財部長

本日はありがとうございました。また今年一年よろしくお願いする。つつがなく議事が進んで本当にホッとしているところである。この後、先ほどお話があった教育振興基本計画の個別のプロジェクトという事で、この委員会でご意見をいただきながら作って行きたいと思っている。今までよりも来ていただく回数が増えてしまい、委員の皆様にはご迷惑をかけるかと思うが、良い社会教育、学校教育の為に皆様のお力をお借りしたいと思っているので、どうぞ忌憚のない意見をいただきたいと思う。最後に宣伝をさせていただきたいと思う。5月20日午後2時から鎌倉芸術館の大ホールで、東アジア文化都市開幕式があり、出来ればご参加いただければありがたいと思っている。もし私の方にもご連絡をいただけたら、手配をする。当日、中国と韓国の要人の方が来られるので、基本的にいきなり来て入れてもらうようにしようとは思っているが、その場合も名前とかを書いていただくなど、手続きが必要になってしまう、もし事前に分かっていたら、事前登録でスムーズに入れるような形が取れるので、ぜひご参加いただければと思う。韓国や中国の色々な文化などが見られ、北鎌倉女子学園の方が来ていただけるので、中島委員にもフォローいただこうと思っているのでよろしくお願いする。

#### 中島委員

毎日毎日役所に通い詰めて細かなことを決めている。今、なかなかその中国とのやりとりがうまく出来ずに、国自体が交信をシャットアウトしている。メールが届かない状況で、なかなか情報が入ってこなく、一昨日と昨日やっと色々な事が決まりつつあって、本当に今焦っている状況である。ただ、文化協会の芸能連盟の和泉流の人が踊るのでイベントとして踊るのは本物とは違うが、観に来ていただければ幸いである。とにかく国の方向が違ったとしても、文化がつながっているという事がわかっていただけるような形を取りたいと思っている。要人の方たちがいるので、私たちでさえも中に入るのに難しい事がある。必ず社会教育委員だと言っていたら受付で大丈夫だと思うので是非来ていただけたら幸いだと思っている。

#### 永瀬委員

質問よろしいか。今の件で質問だが、人員を呼びたいという事なので、鎌倉市P連の会長会だとか、そういうところにアナウンスをするということはあるか。

## 中島委員

多分もうしていると思う。

## 蛭田議長

よろしいか。鎌倉文化だよりを読むと、60周年の記念号らしく、美術連盟、音楽倶楽部、書道協会、その他いろいろ案内が出ている。これはまだ部数があるそうなので、参考までにこういうのを見ておくと、社会教育文化協会というのはどういう団体が入っているのかなど以外と知っているようで分からない。大事な文化の源泉で、社会教育の大事なところである。

## 中島委員

また生涯学習センターの話になって申し訳ないが、電話をかけると直接電話に出なくなり、アナウンスに高齢者が戸惑っている。この時代になって、受付があって、そこで順番に1番、2番と番号を押せというが、電話を掛けていて、どうやって押すのだと言う。多分スマホの方でスピーカーを使ってできるというところから教えることになる。アナログを使っている方もいると思う。そういう方はまだ出来ない。

色々話を聞いていくと、数カ月間、最初は電話を掛けると事務所が出て受付だったのが、それがガイダンスが入って3番にとか言っていたら、この数カ月で3つ変わっている。もし変わるのであれば受付のところ「こうやって下さい」というお知らせの紙を書くなり、これを見ながら出来ますと言う事を教えてあげれば幸いだ。携帯は、電話を掛けるのと、生存確認の為に居場所が分かるようにするくらい。皆さん自身で何かをする、調べる事は出来るが、今話が出た東アジアの事業もそうだが、みんな出来ると思ってQRコードにしてみたら、QRコードで登録出来る人は少ないので、手書きで申し込む方が多かった。

## 飯田生涯学習課長

委託している指定管理者から相談を受けて、殆ど問い合わせの内容が受付で済むような内容だったので、それが全部事務所の方に掛かってしまうということで、回線を設けて先月から運用した。

## 中島委員

利用している方たちは受付に繋がろうが、事務所に繋がろうが、そこに電話をかけているのだから、その中のことは分かるだろうという体で話をしてしまうということがあるのが現状だと思う。出来るだけ文句、苦情が少なくなる為には、受付に案内を置いてあるよという事があれば、少しはそれを見てもらう事が出来るので、そういう親切をしてあげたらいい。

## 蛭田議長

図書館の刊行物の件はよろしいか。

## 栗原図書館長

鎌倉市の図書館が年1回出している年報で、それから近代史資料室だより、それから鎌倉逗子に関する資料を参考に皆さんに机上配布させていただいた。またパソコンで見える方にはアドレス、図書館のホームページからも見られるようになっているので、ご参考にしていただければと思う

## 下山委員

少し話が違うが、先ほどの中高生に向けてのイベントという話を言っていたが、どういったイベントを考えているのか。中高生は、なかなか集まらないので。

## 栗原図書館長

昨年だと、栄光と清泉の学生さんと連携し、イベントを年末に実施した。それは図書館と学校の指導教

員の方とどのようにやっていこうかと一年かけて相談もしながらという形だった。色々な場面で子どもさん達に参加してもらえるようなことを考えているので、それを更に拡げていき、これからの課題等なども捉えているので、ご支援いただくとありがたいと思う。

**蛭田議長**

よろしいか。今度は2回目、3回目は教育委員会でも色々計画の話が出ている、少し時間が取られることもあると思う。以上で第一回社会教育会議定例会を終了する。